

21

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

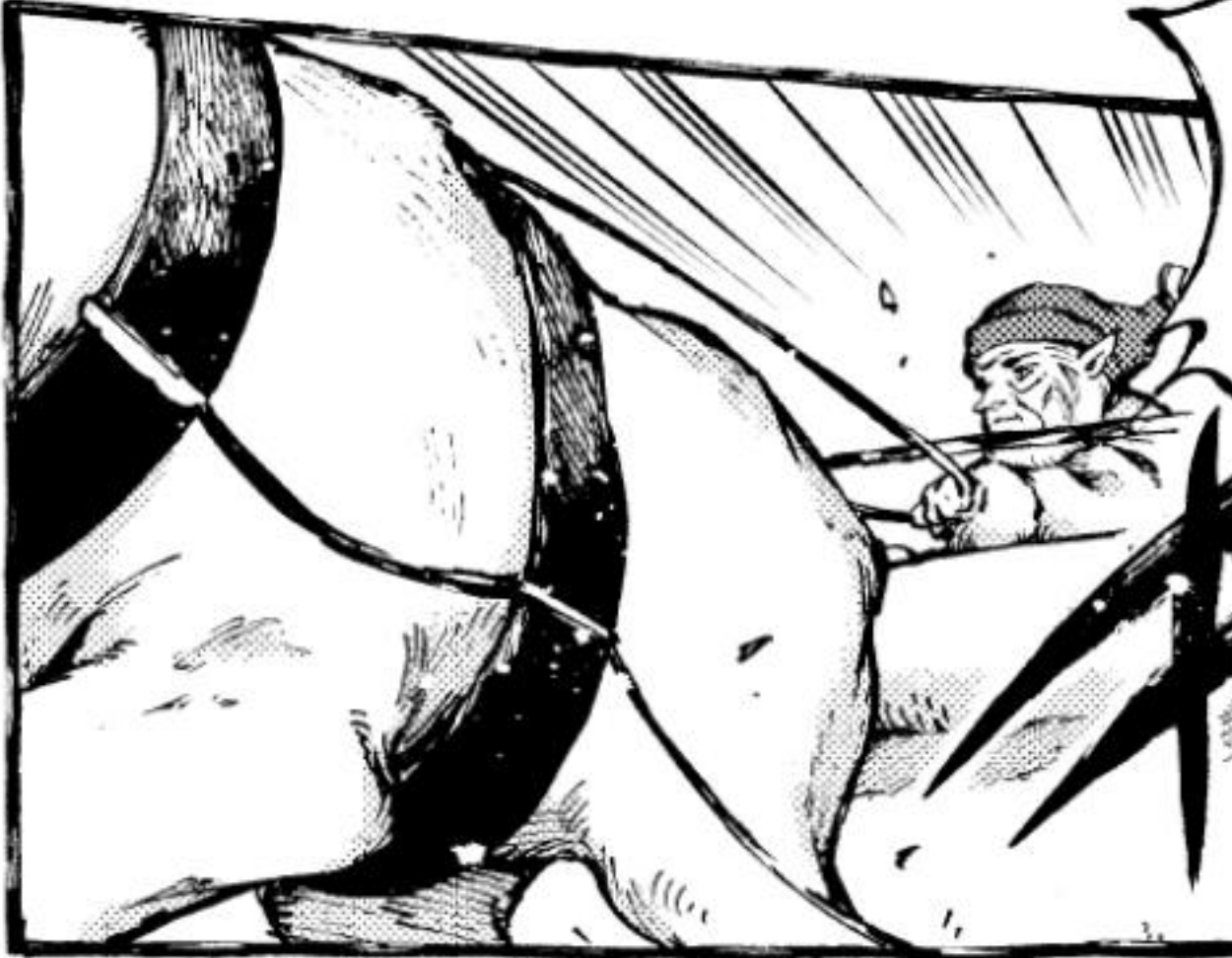
第21話 アスラン、近づく(後編)







あれは
何じゃ？

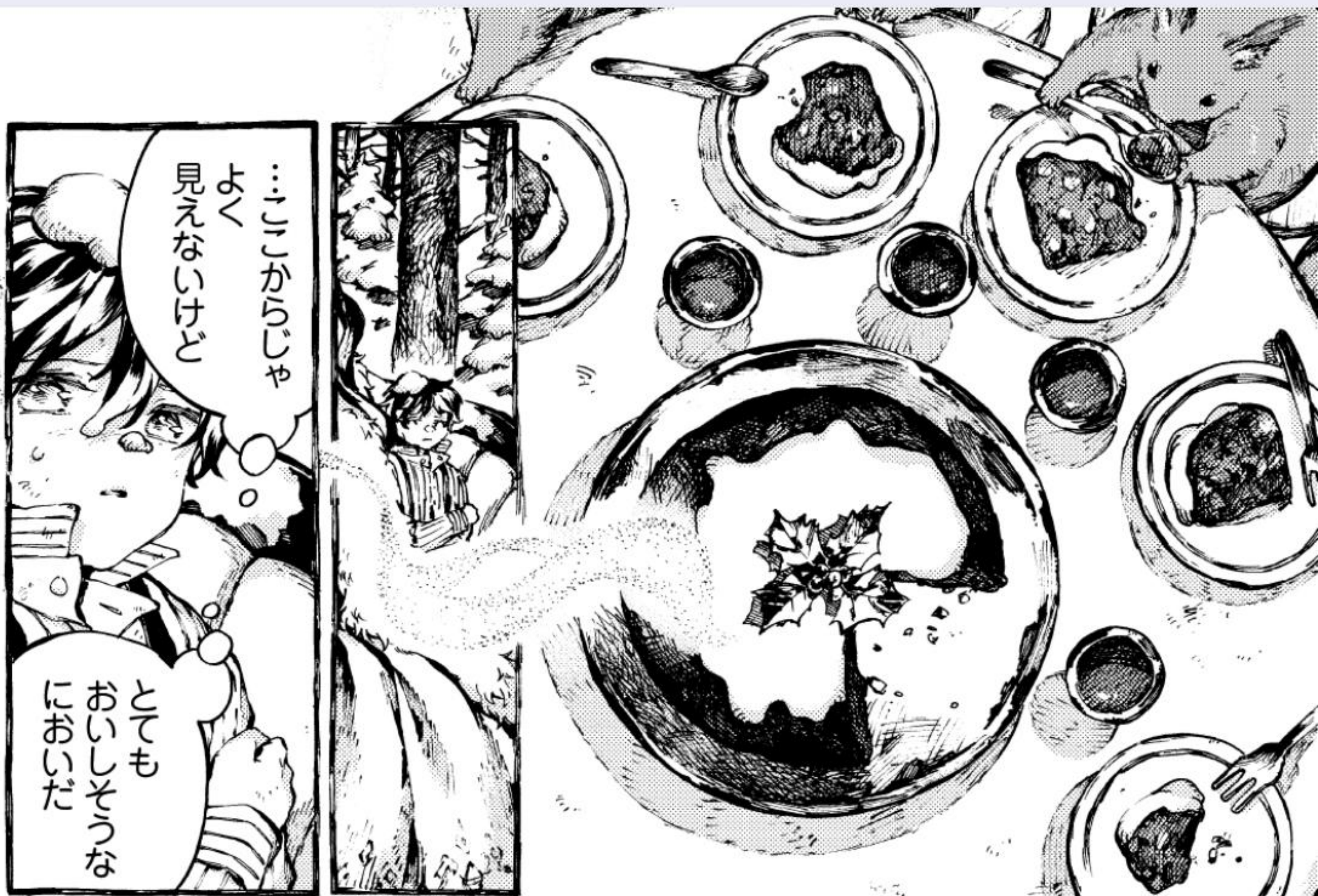


止まれ！

どうか女王が
朝ごはんのことを
言ってくれます
ように……







…ここからじゃ
よく
見えないけど

とても
おいしそうな
においだ



えー

それでは…







この
大盤振る舞いは
何じゃ!?

この
贅沢は!?

この
自墮落は!?

どこから
こんなものを
手に入れた?

おそれ
ながら

陛下

もらったので
ございます

お許しを
いただけますれば

女王陛下の
ご健康を祈念して
乾杯を――

誰に
もらったのじゃ?

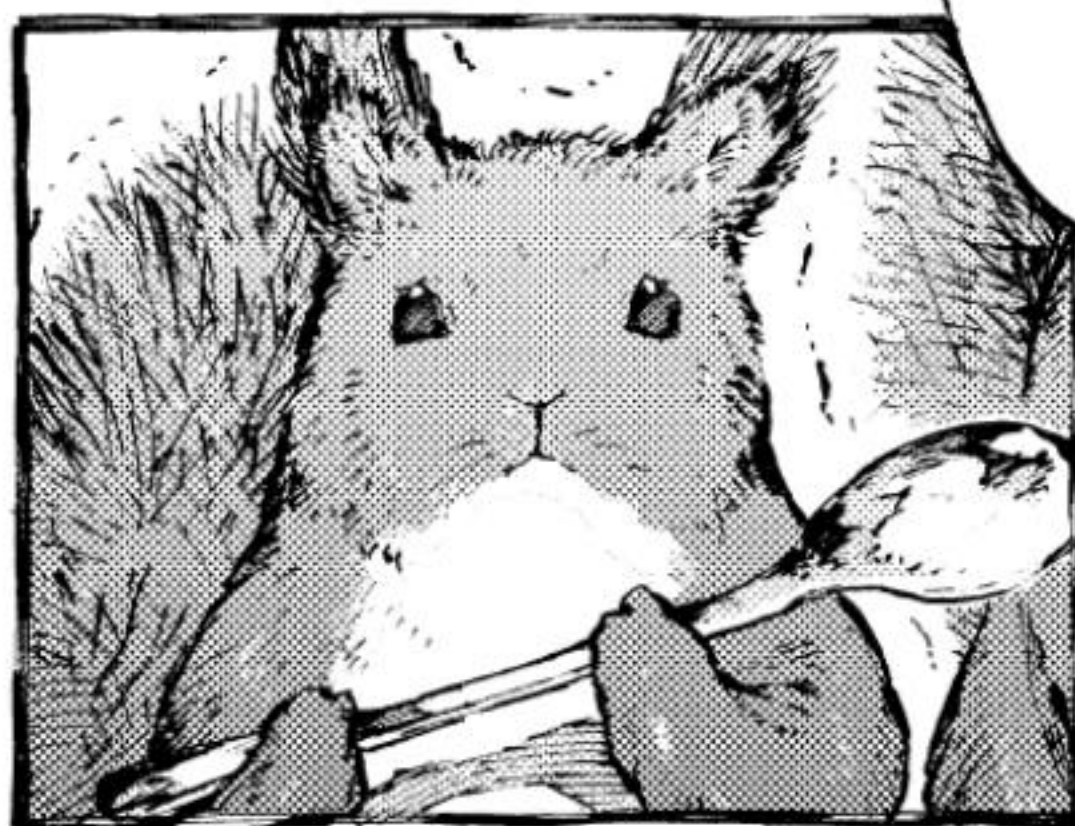
サ

サ



サントクロース
です

何じやとっ..







やめー！

やめて
ください！

お願いします！











雪の水分が
昨夜より
多い...?



あまり
寒くもない?



それに





そりがあまり
滑らなくなつて
きている



トナカイたちが
疲れてきて
いるのか…?



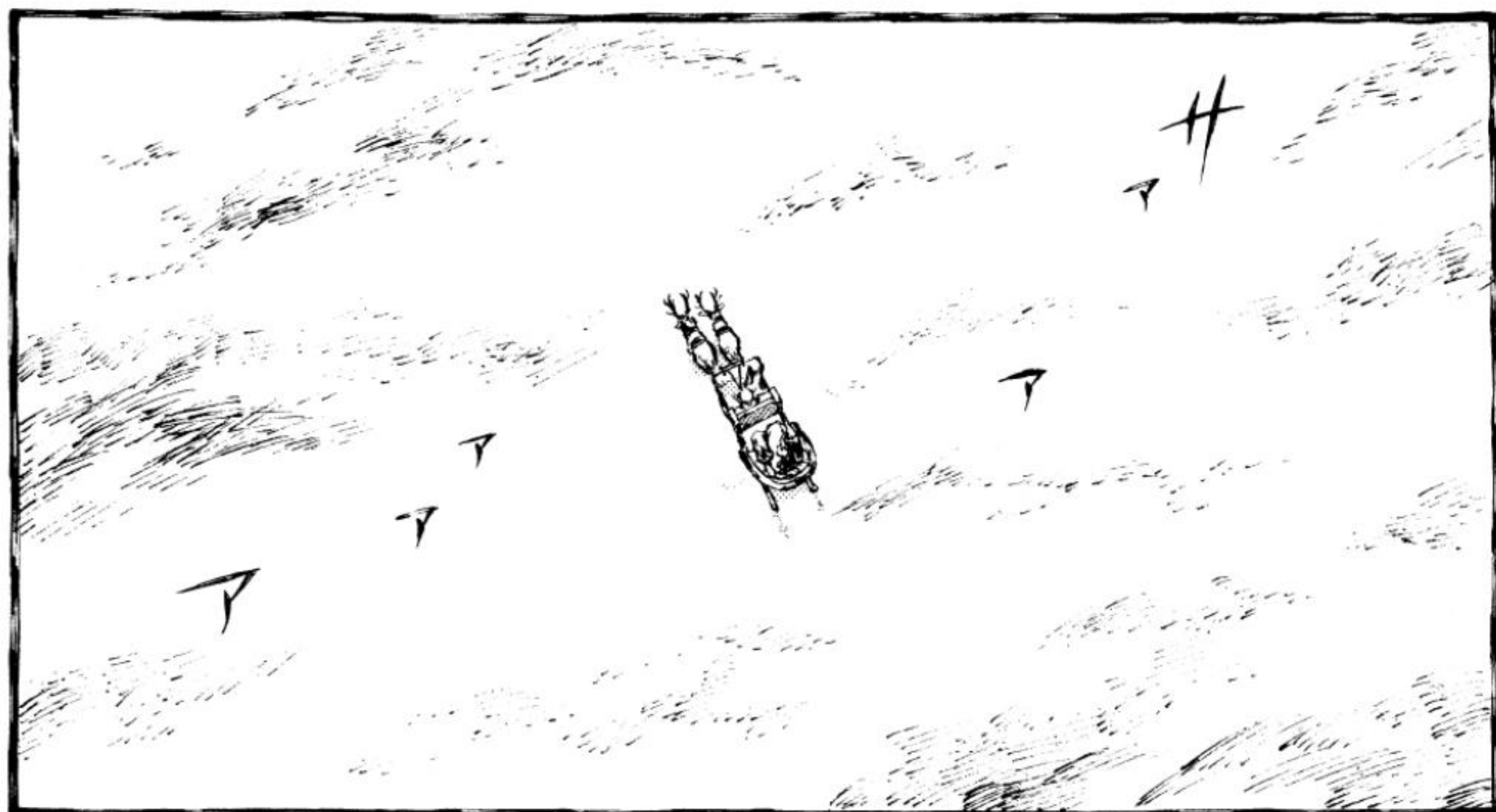
いや、
そうでは
ないようだ



四方八方から
何か不思議な音が
聞こえる気がする…



それに
そりの音や
ドワーフの声で
よく聞き取れ
ないけど



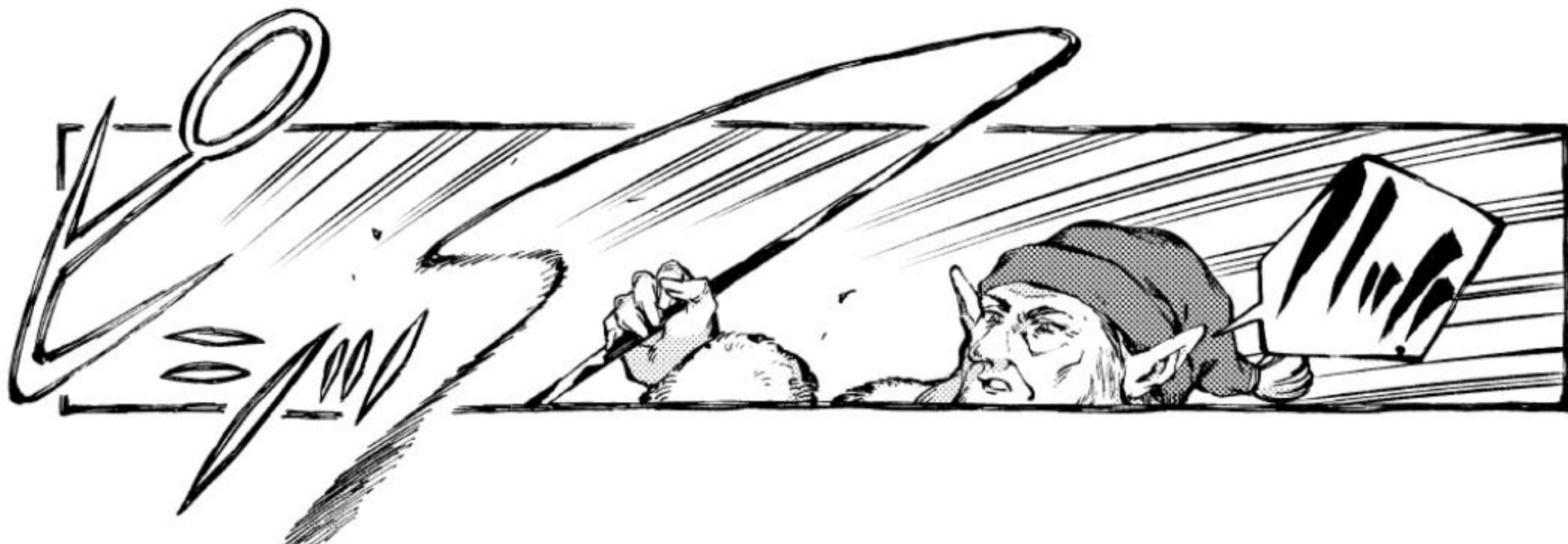
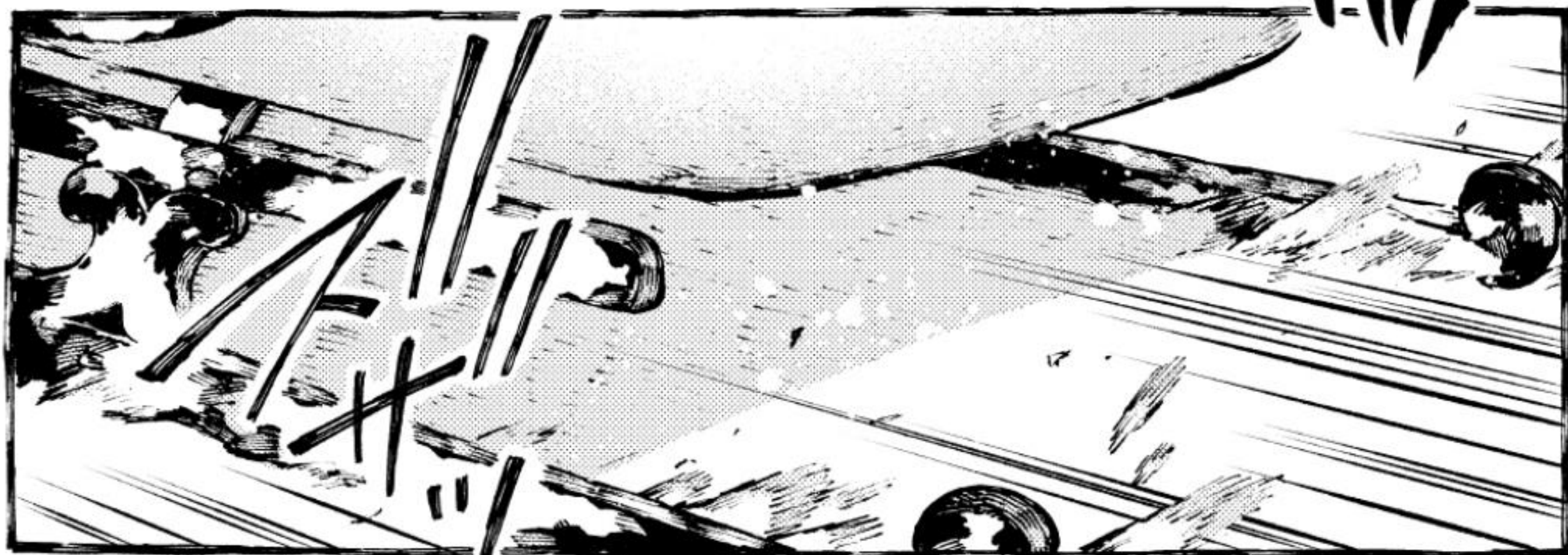


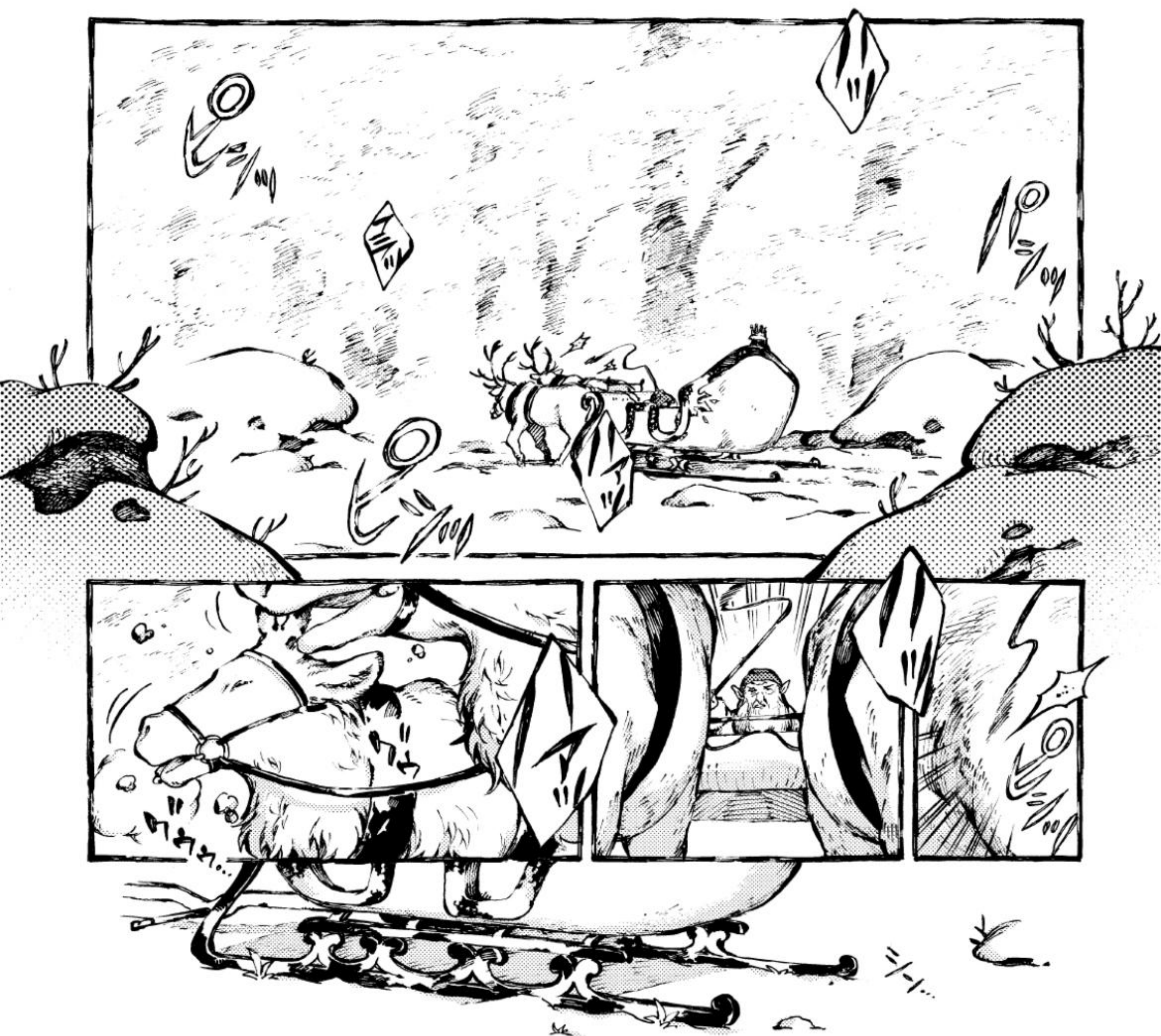
流れる
水の音だ！



氷に閉ざされた
冬が
終わったんだ…！









言われたとおりに
すればよいのじゃ



歩いたのでは
連中には
ぜったいに
追いつけません

むこうのほうが
はるか先に
出発して
おりますから

おまえは
わらわの
指南役か
それとも
奴隷なのか？



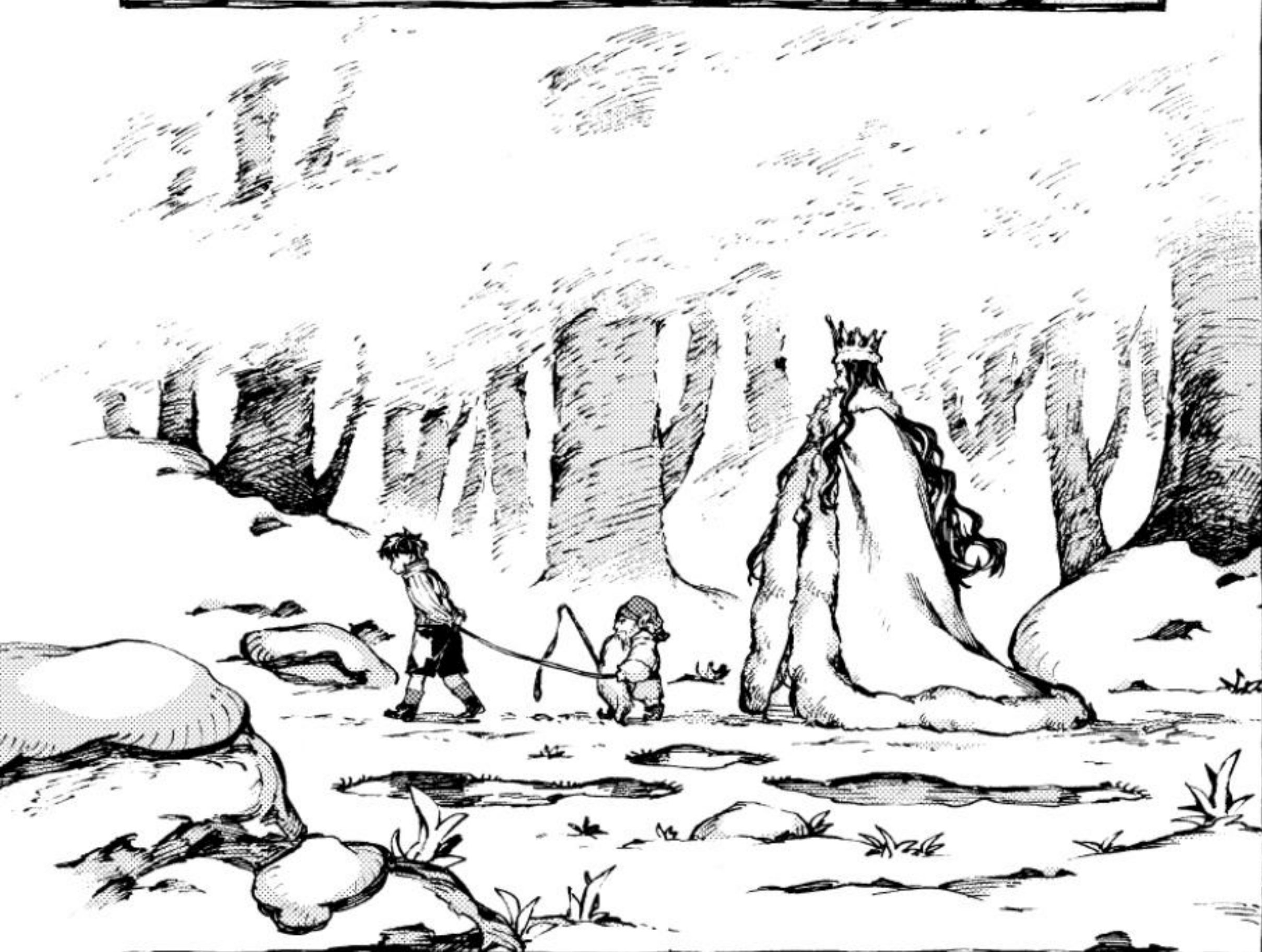
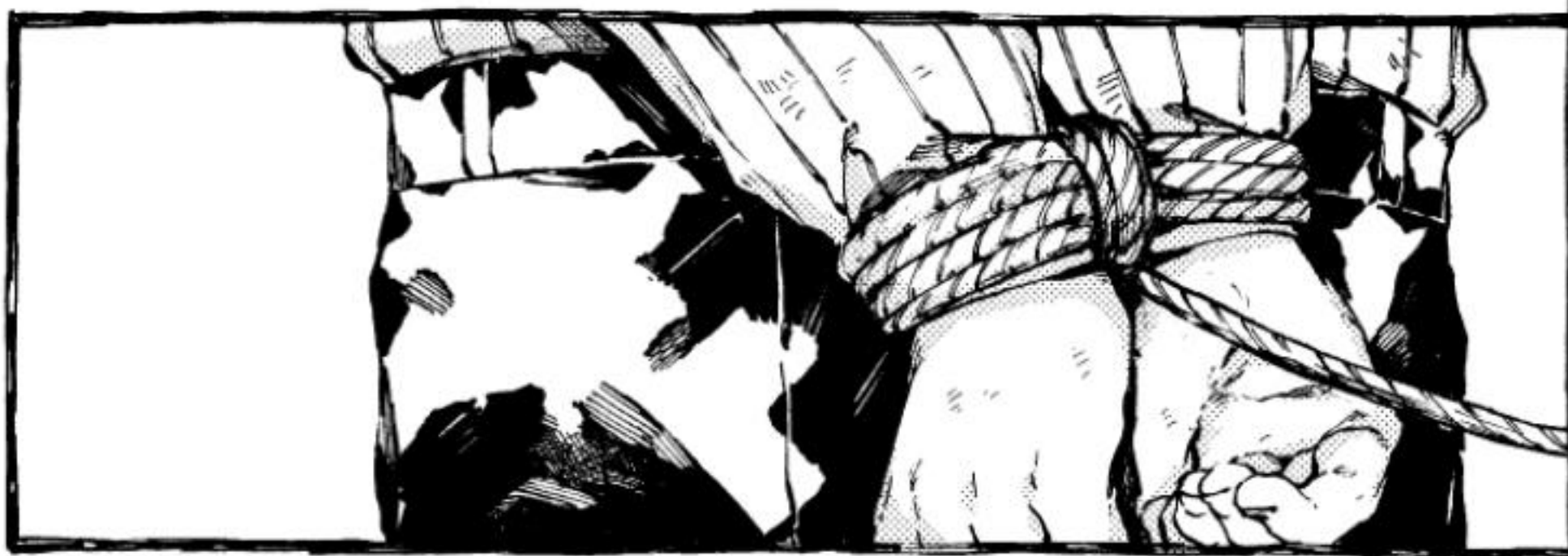
鞭も
忘れるな

その人間めの
両手を後ろに
回して縛って
縄の端を
おまえが持て



それから
トナカイの
ハーネスを
切ってやれ

トナカイたちは
自分で館へ
もどっていくだろう

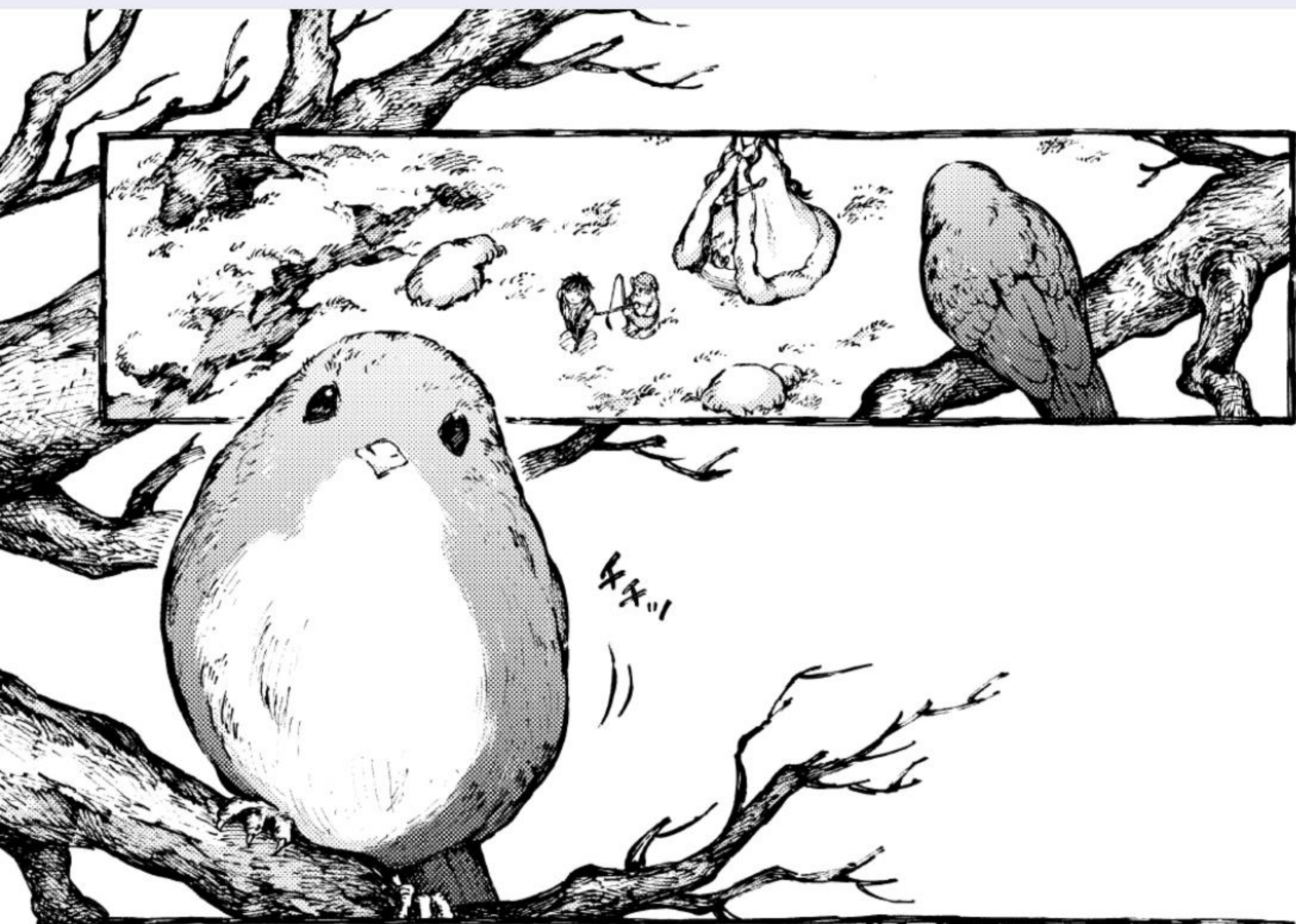


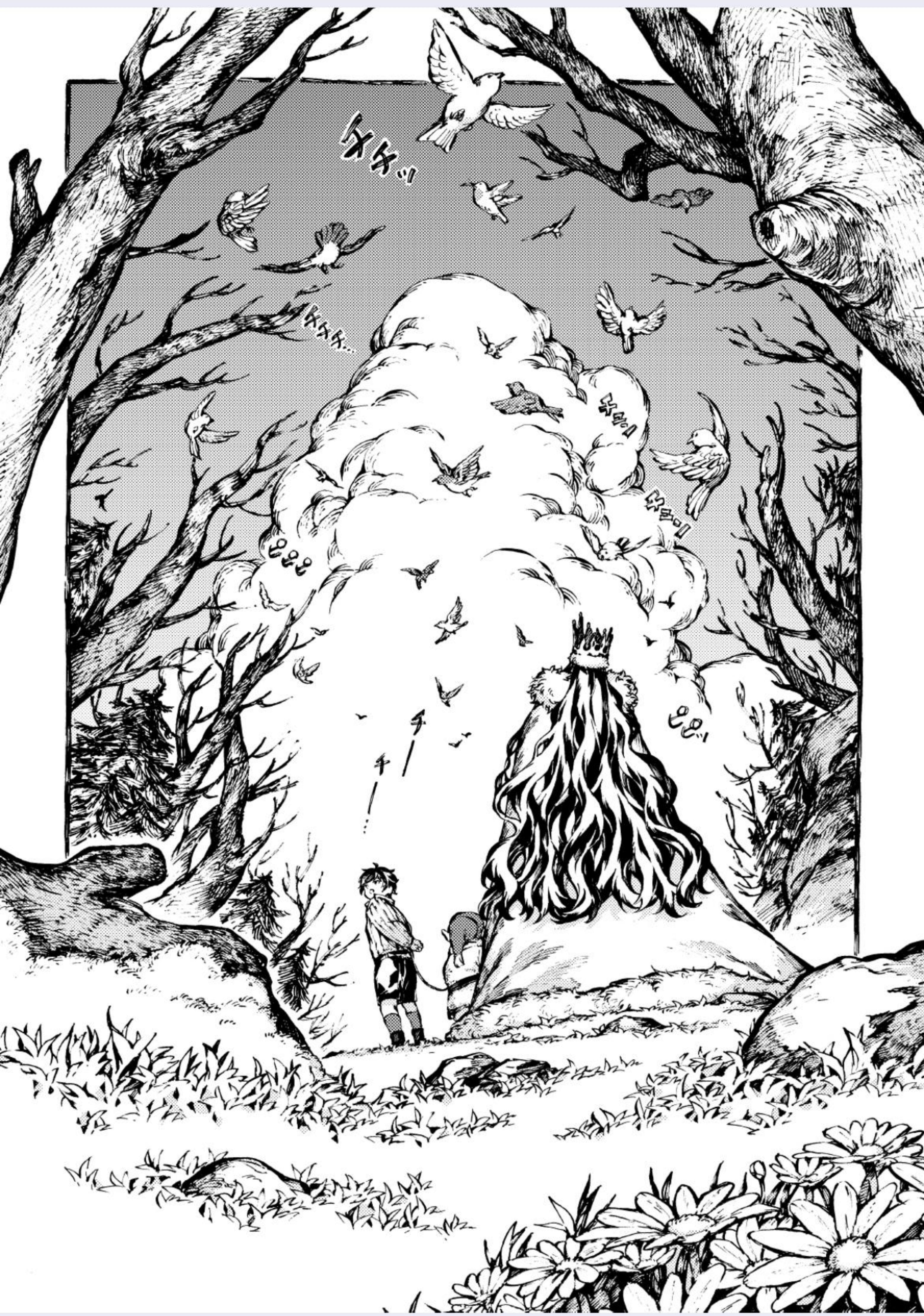


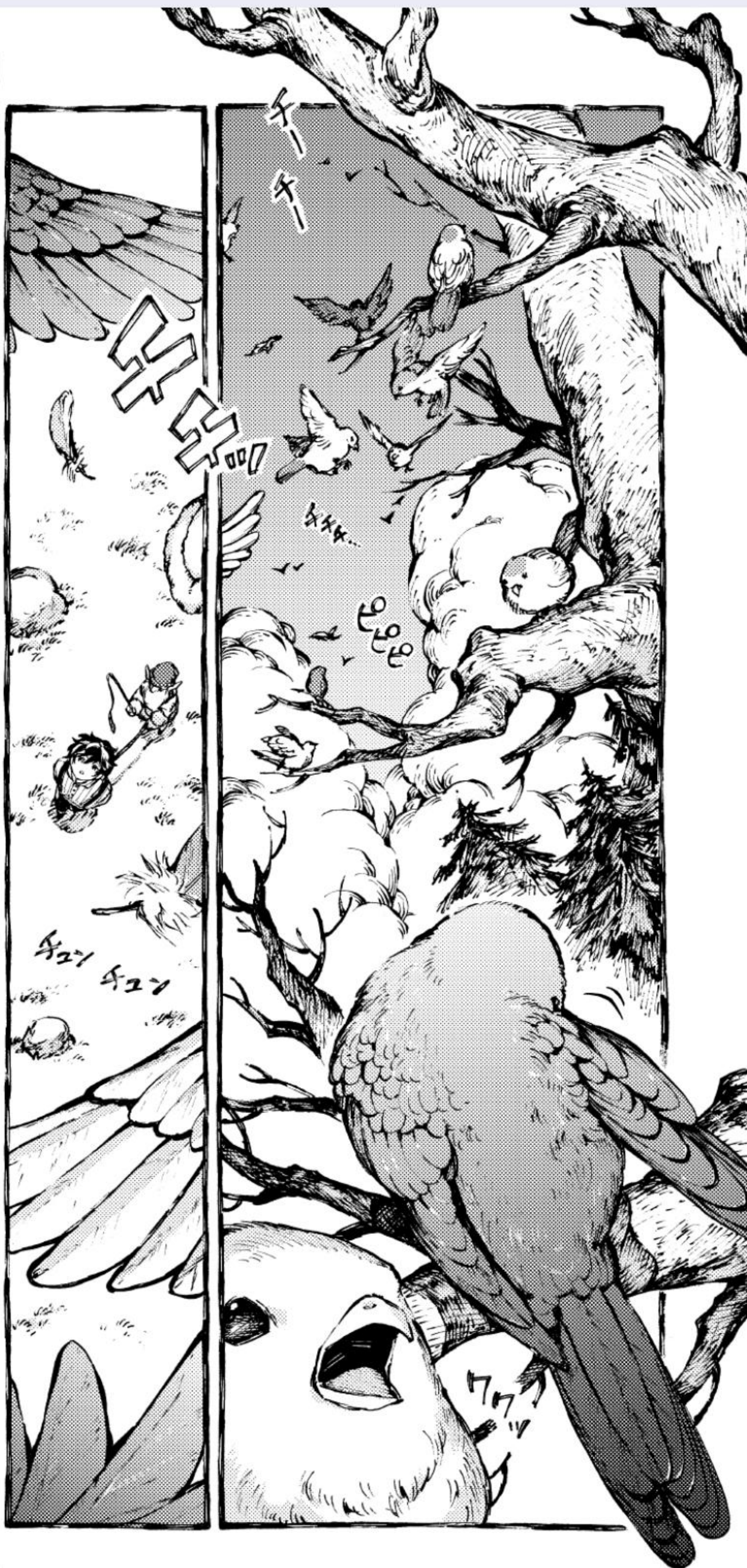




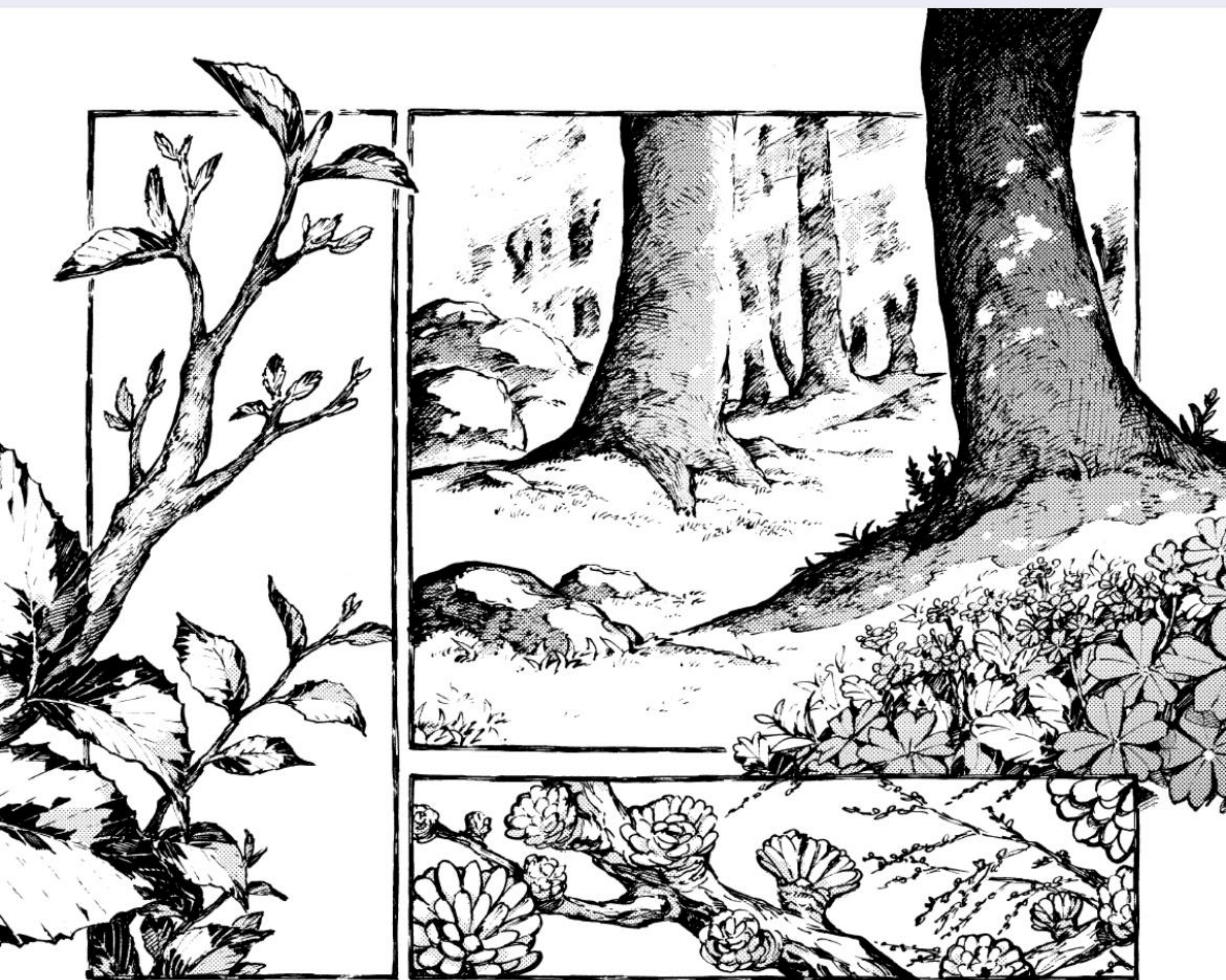






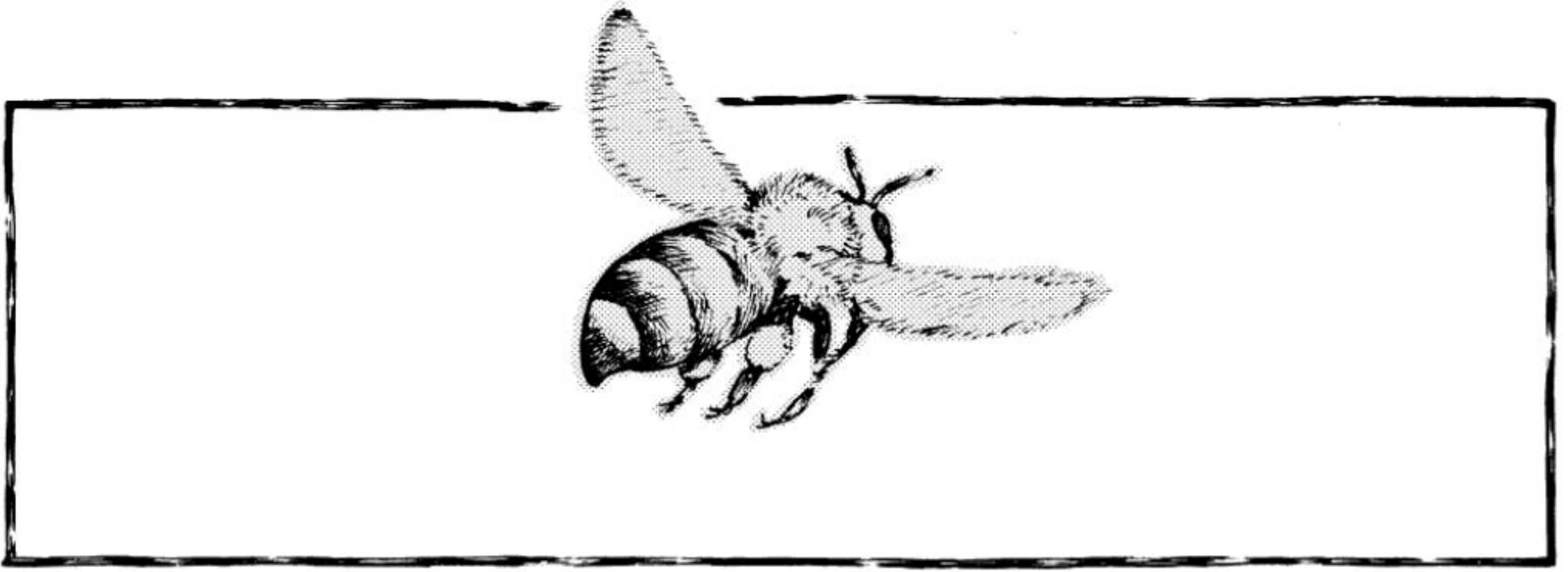














これは
まちがいなく
春でございます

どういたしま
しょうか？



これは
雪どけでは
ございません



女王陛下の冬は
打ち破られた
ようござい
ますよ！



これは
アスランの
しわざです



おまえたちの
どちらかでも

その名を
もう一度
口にしてみよ

即座に
息の根を
止めてやる